

金ヶ崎周辺エリアの概要

1 関連計画

(1) 金ヶ崎周辺整備構想（平成24年5月）

この構想では、敦賀の最も輝かしい時代の港の雰囲気や、郷土への愛着、異国情緒を味わうことのできるノスタルジックな空間と、赤レンガ倉庫やランプ小屋といった歴史的施設を有した金ヶ崎全体を博物館に見立てたミュージアム空間の融合を目指しています。

(2) 金ヶ崎周辺施設整備基本計画（平成30年6月）

上記構想を踏まえて、「人道の港ブランド」の認知度向上に伴う来館者数の急激な増加等の理由により手狭となってきた「人道の港敦賀ミュージアム」の機能拡充や、鉄道関連遺産に関する保存活用等についての施設整備方針やデザイン等を定めています。

2 主な施設の整備状況

平成27年 敦賀赤レンガ倉庫の供用開始

平成30年 キハ28形気動車の設置完了

令和2年 人道の港敦賀ミュージアムの供用開始

令和3年 金ヶ崎プロジェクションマッピングの開催

3 整備エリアの状況（全体面積：約30,000㎡、開発面積：今後検討）

